

2024. 6. 28
ひかりの子幼稚園

「クラス懇談会を終えて」

水遊びが恋しい季節になりました。じゃぶじゃぶ池が大人気です。さて、5月よりスタートしたクラス懇談が先日終了しました。たくさんのご参加ありがとうございました。お陰様でクラス懇談会のねらい“家庭と園が子どもの成長を喜び合い、考え合い、良きパートナーとなる”に繋がる貴重な時間となりました。

クラス懇談会ではお互いの悩みを聞き合い、その後グループディスカッションの時間が持たれました。「それわかるー」「うちも同じ」と頷きあい、共感する姿がありました。

- ✚ 「子育てが全然うまくいかないと悩んでいたけれど、私だけが悩んでいたのではなく、みんなも一緒なんだな…」
- ✚ 「毎日叱ってばかりだけど、結局は親がご機嫌に過ごすのが1番よね！」
- ✚ 「みんなどんなふうに分の時間を作ってるの？」
- ✚ 「子育てはこうあるべきと自分を縛っていたけれど、子どもの気持ちを聞いてあげることから始めてみたい」
- ✚ 「失敗させたくなくて先回りしたけれど、失敗や周り道をして、またやり直せばいいんだよと言ってみようと思った」

などの意見交換がありました。

他の保護者の方の意見を聞くことで違う価値観に触れ、自分の価値観が広がっていくことは“育自”へのきっかけや深まりとなり、クラス懇談会の醍醐味だと思います。

ご家庭での様子をお聞きした際、子ども達は幼稚園で体験したことを持ち帰りおうちでお話され、保護者の方はそのお話をしっかりと聞き、子ども達の思いを受け止めて、体験を広げてくださった事例を数多く拝聴しました。その中から3つエピソードを紹介します。

エピソード①(年長児のご家庭)

年中の時、クラスで隣の畑の梅収穫、梅シロップ作り、試飲を体験したことを持ち帰り、「おうちでも是非やってみよう！」とお願いされて梅シロップをご家庭で初めて作られた。

年長になり、園の近くを自然探検し“ピーピー豆”を発見。音が鳴るだけでなく食べられること知る(興味・関心)。クラスみんなで大豆調べ(探求)から“大豆→お味噌作り”と広がり、実際にお味噌づくりを体験した。

クラスでやっていることが楽しくて仕方がなく、今回も「おうちでもお味噌を作りたい！」と頼まれたが、さすがに“お味噌作り”はハードルが高く断念。とりあえずクラスで体験したピーピー豆を食べるところからやってみようことを計画しているというお話でした。



梅+氷砂糖



出来上がったお味噌の
においをかいでみる

エピソード②(年長児のご家庭)

“平和を祈る日”、先生が話す「ウクライナ戦争」「能登半島地震」「東日本大震災」のことを子どもはとてもよく聞いて帰ってきて、献金を持っていくことを楽しみにしている。祈ること、献金することが誰かの役に立つという“社会貢献”や思いやりの心を子どもが学んでいると思う。さらに家庭で「この世界のどこには、自分のおもちゃを一つも持っていない子がいるんだって。あなたはたくさん持っているよね。どれか送ってみない？」と提案すると、とても大事にしているおもちゃをあげることを決めた(祈り)というお話でした。

エピソード③(年中児のご家庭)

色水遊びをして色とりどりのペットボトルを毎日のように持ち帰り、我が子が楽しんでる様子をうれしく思う。幼稚園からのメールで花がらを集めている事を知ったお母さまは、石垣島に住んでいるおじいさまにそのことを伝える。おじいさまは自分が育てている“バタフライピー”というお花(タイのお茶としても有名)を、来阪の際、お土産としてはるばる石垣島から届けてくださった。「とってもいい色が出るんですよ。ぜひクラスの色水遊びに使ってください。」とお母さまが担任にバタフライピーを持って来て下さった。クラスでさっそくやってみる。乾燥した花がらを水の中に落とすだけで、瞬く間に透明なお水が淡いブルーへと変わる。すり潰すとますます濃いブルーになり、子ども達の歓声が上がる。さらにお酢やレモン汁など酸性のものを加えると色が変わることを、お母さまから教えてもらったので試してみる。ブルーだった色水がピンク色にさっと魔法のように変わる。「わぁ～なんでえ？」という歓声。園での遊びがご家庭に、またクラス全体へと広がり、科学の目(探求心)が育つきっかけとなりました。



バタフライピーの花



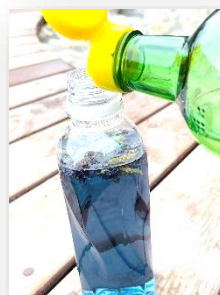
乾燥したバタフライピー



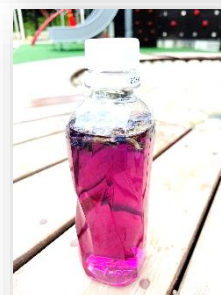
ゴリゴリしてみると



きれいなブルーに



レモン果汁を入れてみると



ピンク色に変化

クラス懇談を終えて、一人ひとりの子どもに対する保育者と保護者の方の理解が深まった事と思います。保護者の方の願いや思いを理解し、今この瞬間の子ども達の精一杯の姿・頑張りや成長を共に喜び合えたことに感謝し、今後も子ども・保護者・保育者が共に成長する関係性を大切にしていきます。

特にコロナ以降 YouTube 動画やゲームで疑似体験はあるけれど、実際に“見たこと・したことが無い”ということも多くなってきています。子ども達にとって“経験すること”は宝です。“知ること”・“見ること”・“聞くこと”・“すること”は、柔らかいスポンジのような子どもの心にまっすぐに染み込んでいき、それは想像力・創意工夫する力・探究心・表現力・協調性・思いやり・意欲・積極性・根気などの基礎となって育っていきます。心が動く豊かな学びや、安心して自分を表現できる様々な活動を、これからも取り組んでまいります。

園長 松本 直子